



岸和田城音楽祭

Chopin
2010

特別後援：
駐日ポーランド
共和国大使館

初夏の祭典 Kishiwada Castle Music Festival

ショパン生誕200年記念

ショパン・ピアノコンサート(全5回)

～透き通る“プレイエル”の響きが、ショパンの世界へ誘う至福のひとつとき～



1842年製プレイエル(フォルテピアノ・ヤマモト
コレクション所蔵)

“プレイエル”はショパンが好んで弾いたピアノ。
繊細な響きにショパンの想いが伝わってくる。

*** Program & Profile ***

第3回 ~仲道 郁代 Ikuyo Nakamichi ピアノリサイタル~

6月27日(日)

“ショパン～その人生と名曲に秘められた謎～”

開演16:00(開場15:30)

岸和田市立浪切ホール(小ホール)

入場料： 一般 3,900円、高校生以下 3,000円
浪切友の会、商工会議所会員 3,500円

<予定プログラム>

[第1部] プレイエル演奏

幻想即興曲、ワルツ第6番「小犬」、ワルツ第7番、
12の練習曲作品10第3番「別れの曲」、バラード第1番

[第2部]

ノクターン第13番、第14番、12の練習曲作品10第12番「革命」、
同作品10第5番「黒鍵」、同作品25-1第1番「エオリアンハープ」、
スケルツォ第2番、マズルカ第13番、バラード第4番、
ポロネーズ第6番「英雄」

※ 曲目は変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

<プロフィール>

4歳からピアノをはじめ、桐朋学園大学1年在学中に、第51回日本音楽コンクール第1位を受賞し注目を集める。1987年ヨーロッパと日本で本格的にデビュー。温かい音色と叙情性、卓越した音楽性が高く評価され、人気、実力ともに日本を代表するピアニストとして第一線で活躍している。国内外の主要オーケストラとの共演も数多い。現在は、ショパンの生涯を映像とエピソードで綴る「ショパン鍵盤のミステリー」企画、「モーツァルト・ピアノ・ソナタ全曲演奏会」などのシリーズが進行しており、大きな反響を呼んでいる。2003年より地域社会活性化と音楽文化振興のために、大阪音楽大学特任教授、財団法人地域創造理事としても、積極的に活動。岸和田では2008年10月に続き今年で2回目の演奏となる。

* 仲道郁代オフィシャル・ホームページ <http://www.ikuyo-nakamichi.com>



photo:Katsuro Ueda



特別解説 “ショパンの愛したプレイエル”

山本 宣夫(やまもと のぶお)(フォルテピアノ修復家)

堺市在住。フォルテピアノ修復家として国際的に著名。浜松でピアノ製作を学んだ後、ベーゼンドルファー社で研鑽。その後ウィーン芸術史博物館でフォルテピアノ修復技術を習得し、フォルテピアノの修復と収集に尽力。1988年スペース・クリストフオリ堺で「フォルテピアノ・ヤマモトコレクション」を公開。1999年世界最初のピアノ“クリストフオリ”の完全復元楽器(1726年フィレンツェ製)を製作。2000年5月イタリアの「ユーロ・ピアノコンGRESS2000」に招待、その演奏に大きな反響があり、ウィーンの博物館などでも展示・演奏されて話題を呼ぶ。2007年、リストがパリのサロンでコンサートに使用していた“エラール”ピアノ(1867年製、サントリーホール所蔵)を修復完成。2008年10月サントリー・ガラコンサートに登場し話題を呼んだ。

会場：岸和田市立浪切ホール・小ホール(284席全指定席)
〒596-0014 岸和田市港緑町1-1

主催：岸和田城音楽祭実行委員会 共催：岸和田市文化財団

特別協賛：(株)泉州銀行

特別後援：駐日ポーランド共和国大使館

後援：岸和田市、岸和田市教育委員会、
岸和田文化事業協会、岸和田商工会議所

●チケット：2010年3月7日(日)より前売券発売
浪切ホール TEL 072-439-4915

岸和田商工会議所・西岡 TEL 072-439-5023

●コンサート内容の問合せ：岸和田城音楽祭実行委員会事務局
藪吉倉庫(株)上田 TEL 072-423-0921

